



教会だより  
ミルトス

ミルトスは、水がなくても育つ強い木であることから不死のイメージがあり、祝福と繁栄の象徴の木と言われている。

今年のみ言葉 「私たちすべてのために」

私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるでしょうか。（ローマ書8章32節）

日本バプテスト教会連合  
八千代キリスト教会  
牧師 小林政和  
八千代市大和田新田 94-77  
:047-450-1536・Fax:047-473-3925  
メール：[gpning725@gmail.com](mailto:gpning725@gmail.com)  
郵便振替：00190-4-554373

「エルサレム会議で聖霊様の一致があった」

牧師 小林 政和



迫害により散らされたユダヤ人はアンティオケの町でも伝道し、そこに異邦人教会を設立しました。そのアンティオケ教会からパウロとバルナバが派遣され、本格的な異邦人伝道が小アジア地方に展開されて行きました(第一次伝道旅行)。あるユダヤ人たちから、兄弟たちに「モーセの慣例に従って割礼を受けなければあなたがたは救われない」と言したことから、異邦人の救いについて大問題になり、信仰が混乱しました。事態の収拾のため、今後の伝道の方向付けのために、エルサレム会議が開かれます。「使徒たちと長老たち、また全教会の代表がともに」集められた。使徒の働き15章28節「聖靈と私たちが決めました。」とあるように、会議は、出席者たちと各人の中にいる聖靈様によって決定されました。エルサレム会議の結果、「異邦人のために割礼やその他のことを強いてはならない。以下の4点を守れば十分です。1)偶像に供えた汚れた物を食べない。2)不品行しない。3)絞め殺したものを避ける。4)血をながすことを避ける。ユダとシラスが選ばれて、手紙を運ぶと共に、内容を口頭で説明することとし、異邦人に必要なことを伝えました。この手紙を読んだ教員は「励まし、力づけ」されたのです。こうして、教会は大きな転機を乗り越えて、さらにその働きを拡大してゆくわけですが、教会の成長のために、会議中に御靈が働きました。使徒と言えど間違わないように、聖靈様に助けを求めるました。この教会指導者会議を聖靈様に委ねました。使徒の権限を振りかざして強引に決めたわけではありません。多数決ではなく、聖靈による一致です。これはすべてに通じる「各キリスト者のみ靈は一つである」ことにより一致できるのです。その人が聖靈様に十分支配され切れていない。本当にその人が聖靈に満たされているなら、聖靈の一致ができるはずではあります。私心を捨て、行き掛かりを捨て、皆が主のみ心を求めるなら、必ずみ心の一致があるはずです。一致がないのは自分の意見や主張の絶対化が行われたり、自分のメンツや行きがかりに拘わっているからではないでしょうか。種は天から来る聖靈です。畑は地上にある人です。聖靈は人の中にその命を出現しようとしているのです。種は畑の中に入り、種の中にある命が形を現して、芽を出し、花を咲かせ、実を結ぶようになるのです。畑を離れては、種の命は出現できないのです。聖靈は人がなくしては働けないのです。真のクリスチヤンが話し合えば必ず一致点に到達できます。私にある聖靈様と話し相手の中にある聖靈様が同じキリストの靈だからです。

8月7日(木)八千代キリスト教会ホームページ制作の打ち合わせ

ホームページには、当教会の特色・歴史・行事(日曜礼拝、祈祷会、家庭集会)・アクセス案内・会員の紹介、などが掲載されています。教員のみならず、初めて見る方達にもわかりやすく、魅力あるものになるよう作成中です。



駐車場の花

「ケイトウ」(8/8 撮影)  
(下橋)



8月24日(日)小林牧師が御園バプテスト教会を訪問

初めて御園教会を訪問しました。丸山悟司先生と奥様が出迎えてくださいました。いつもは第一礼拝と第二礼拝を捧げますが、この日だけは年一度の賛美を中心とした礼拝(メッセージは短く)を行っています。教員一同が賛美し、聖歌隊によるワーシップソングが捧げられ、家族単位の賛美会があり、楽しませてくれました。

礼拝後、教員の方々と、親しく交わりを持つことが出来ました。皆様も御園教会のために祈りましょう。(小林)



## メンバーソーク

## [神さまの恵によって]

## 河手ハイディ

Greetings to all of you my sisters and brothers in the name of our Lord and Savior Jesus Christ! May His grace, peace, and unfailing love be with you today and always.

**Jeremiah 29:11** "For I know the plans I have for you, declares the Lord, "plans to prosper you and not to harm you, plans to give you hope and a future."

**Proverbs 3:5-6** "Trust in the Lord with all your heart and lean not on your own understanding; in all your ways submit to him, and he will make your paths straight."

Two verses reassures me that God has a purpose for their life—one filled with hope, direction, and goodness, even when the path ahead is uncertain. That God is already ahead of them, preparing the way. It's a beautiful and emotional moment seeing my daughters step into a new chapter of life. **Maichan** is now in her first year in 千葉工業大学. By God's grace, Maichan is officially a university student! I just can't believe it, where does the time go? She is currently spending her summer vacation in Yamagata for a two-week driving course. **Amichan** is now a 3rd year in Toyo High School. She is busy preparing for the college entrance examination. She wants to be a Social Studies High School teacher someday by God's grace. All glory to God for His goodness in the lives of my two precious daughters



(訳)兄弟姉妹の皆様、私たちの主であり救い主イエス・キリストの御名によって、ご挨拶申し上げます。主の恵みと平和、そして変わらぬ愛が、今日も、そしていつまでも、皆様と共にありますように。

エレミヤ書29:11「わたしはあなたがたのために立てている計画を知っているからだ。一【主】の御告げ—それは災いをもたらすものではなく、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるものである。」箴言3:5-6「心を尽くして主に拝り頼め。自分の悟にいたるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」

この二つの聖句は、神が彼らの人生に目的を持っておられることを私に確信させてくれます。たとえ前途が不確かなときでも、その目的は希望と導きと慈しみに満ちているのです。神はすでに彼らの前に立ち、道を備えておられるのです。娘たちが人生の新たな章に足を踏み入れるのを見るのは、美しく、感動的な瞬間です。**まいちゃん**は千葉工業大学1年生になりました。神様の恵みにより、彼女は正式に大学生になりました！信じられません。時の流れは早いですね。彼女は現在、夏休みを利用して山形で2週間の運転教習を受けています。**あみちゃん**は現在、東洋高校3年生です。大学入試の準備に忙しくしています。神様の恵みにより、いつか高校の社会科の先生になりたいと思っています。私の大切な二人の娘たちの人生に恵みを与えてくださった神様に、すべての栄光を捧げます。

### 教会及び連合のスケジュール(予定)

- 08月31日(日) ミルトス55号発行・発送
- 09月07日(日) 9月運営委員会
- 09月18日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会
- 09月21日(日) 創立29周年記念
- 09月28日(日) ミルトス56号発行・発送
- 10月19日(日) 聖餐式
- 10月25日(日) ミルトス57号発行・発送
- 11月13日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会
- 12月21日(日) クリスマス礼拝・祝会

### 祈って下さい

- 1)「バプテスト教会連合54教会の祈祷課題」が、み心にそつて実現しますように
- 2)横田めぐみさんはじめ拉致被害者の方々が、早く家族のもとに帰れるように
- 3)ロシア軍に侵攻されているウクライナに、平和が回復するように
- 4)イスラエルとパレスチナのハマスとの間に停戦合意ができ、イランとの間に戦争にならないように
- 5)三郷教会の大澤美保夫人の、抗がん剤治療が副作用なく用いられ、健康が回復できますように
- 6)祈祷会に多くの方々が参加し、祈りがささげられますように
- 7)洗礼を受けられた「八木明子」姉の信仰の成長のために
- 8)成田のグループ・ホームにいる安藤真大兄の健康、衰える体力が回復できるリハビリが見つかりますように

### 3分間講座 「パウロの伝道を支えたアクラとプリスキラ」

伝道のため、アテネから約100km 離れたコリントへ向かったパウロは、ポンタ生まれのユダヤ人のアクラとその妻プリスキラに出会います。ユダヤの人たちは、紀元49~50年に皇帝クラウデオによってローマを追われ、大勢の仲間たちとイタリアからコリントへ移り住んだのです。夫妻はパウロを暖かく迎え、生業の天幕づくりの仕事を一緒にこなします(使徒の働き18:3)。パウロの生地は山羊の毛の織物で有名で、実家も天幕づくりをしていましたから、作業は心得たものです。夫妻が、いつどのようにキリスト教徒になったのかは聖書に記録がないのですが、古くから教徒として過ごし、パウロが滞在した1年半もの間、伝道活動が支障なく進むようにいろいろと便宜を図ります。自宅を解放して、多くの人が集まり信仰を深める「家庭教会」を立ち上げ、真の福音を語り合ったり、パウロがコリントを去るときにはエペソまで同行しています。

エルサレムを目指すパウロと別れた夫妻はしばらくエペソに留まり、そこでアレクサンドリア出身のアポロと知り合います。彼は聖書に通じ、土地の人々に熱心にイエスのことを教えていましたが、いまひとつ未熟さを知ったアクラ夫妻は、アポロを自宅に招いて神の道を詳しく伝えて、優れたキリスト教徒に育てたのです。アポロは後にギリシャへの伝道を望み、夫妻は励ましてエペソから送り出します。パウロはローマ書16:3-4でこの夫妻を重んじて、「プリスキラとア克拉は私のため命かけてくれた人で、異邦人のすべての教会も二人に感謝している」と深い敬意で記しています。ア克拉とプリスキラは固い絆で結ばれた夫婦で、信者同士の信頼が芽生えるのを見て大きな喜びや満足感を味わったことでしょう。ヘブル書13:16にある「善を行ふこと。そして他人と分かち合う」やさしさは、日頃から忘れないよう努めたいことです。(池田)



天幕づくりに励む  
ア克拉とプリスキラ

編集後記:猛暑が続いている。熱中症予防の為、クーラーなどで涼しくしたり、水分や塩分をこまめに取り、脱水状態にならないようにしましょう。と盛んに呼びかけています。一方、日本の食生活では塩分を取り過ぎるため高血圧症になりやすいと言われています。食事では塩分を減らし、熱中症対策では塩分を取りましょうと言われています。さて、どうしたら良いのでしょうか(下橋)